

給食会たより

令和3年度第11号
(公財)熊本市学校給食会
R4.2.28 文責：本郷

熊本県産真鯛の学校給食への提供

農林水産省の新型コロナウイルス感染症に関する経済対策事業として熊本県が実施する「くまもとの魚販路拡大等緊急支援事業」を活用して、2月に県産養殖の天草さくら鯛を使ったメニューを県の補助で学校給食に取り入れました。天草さくら鯛は、天然真鯛の好漁場である天草で育った真鯛で、年間を通じて脂ののり具合が一定で安定した美味しさが楽しめる鯛です。子どもたちにおいしさを体感してもらい、県産水産物への理解を深め関心を持ってもらおうという取組です。食べた子どもたちからは、「サクサクしておいしかった。」「大きくてかみ応えがあり、かむ回数も多くなるので、体に良いと思った。」また、欠席者があつたある学級では「余ったフライを誰が食べるかジャンケンで取り合いになるほどの人気だった。」などの感想が聞かれました。



【小学校で提供された県産真鯛磯辺フライの献立】



【中学校で提供された県産真鯛フライの献立】

熊本市食品交流会館モニター会議

フードパル熊本とその場所にある熊本市食品交流会館では、更なる活性化を図るため、モニター制度を導入しておられ、地域の学校長、まちづくり委員会長、とれたて市会長、会館の料理教室の講師代表などとともに、本会もその委員として招へいされています。2月の会議では、次のような意見が出されました。

- ・フードパルのファンを作る。本人承諾を得たらダイレクトメールを送付する。
- ・フードパルの価値を高めるようなイベントを実施する。
- ・コロナ禍の今すること、コロナ後のために準備しておくことを分けて考える。

モニター会議で交わされる意見は本会に参考になることもあり、特に、コロナ後を見据えた取組を考えていくことは、本会にも必要なことだと思っています。